

# 吉川育英会だより

～友の会(OB会)会員と現役奨学生からの近況報告～

Vol.6

チャウ ティ カム ホン (ベトナム)  
北九州市立大学大学院



奨学生の集いは  
リラックスできる時間です。

私は平成24年4月、北九州市立大学大学院（修士課程）入学に際し、広島ベトナム協会から奨学金を頂きました。その後、同年10月から奨学金を返還しています。奨学金の返金と生活費と学費の全てを自分で支払うため、勉強しながらアルバイトをしています。しかし、アルバイトだけでは、生活費や学費の全てをまかなうことは難しく、困っていました。

特に、平成26年4月に博士課程後期に進学してから、勉強や研究が忙しくなるため、アルバイトの時間を減らすことが必要でした。その時から、吉川育英会に支援を頂き、勉強や研究に集中できるようになりました。心より感謝申し上げます。



▲ 新日鐵住金(株)八幡製鐵所殿見学会

吉川育英会の毎月の「奨学生の集い」がとても良いチャンスで様々な国からの留学生たちと話したり、皆さんの自国の文化や習慣などのスピーチを聞いたり、工場見学したりして、社会の知識を広め、楽しくリラックスした時間を過ごしています。

奨学生の内は私を含む3人が博士課程で勉強しています。研究内容が違いますが、雑誌に投稿論文の内容や論文の書き方などを相談できました。私はいつも「奨学生の集い」を楽しみにしています。

去年の研究成果については、水試料中における残留農薬や医薬品などの濃度の網羅的分析方法を開発しました。併せて、開発した網羅分析法をベトナムの河川水等で実施するために、去年8月にハノイの地下水を採水しました。9月にオーストラリアで開催された学会にて、ベトナムの河川水の310物質の汚染実態（地域差・季節変動）を発表しました。その際、指導の先生と同研究室員とともに環境研究で連携しているメルボルン大学を訪問しました。

また、北九州市立大学は、日明浄化センターと連携し、ハイフォン市から来る若手技術者の短期研修を実施しました。今年、新管理棟が完成し、4月に完成式典が執り行われ、私たちは完成式典に出席しました。特に、くす玉割りをさせて頂き大変光栄でした。

現在、2年間で博士号を取得する早期修了のために、投稿の論文を頑張っ作成しています。

吉川育英会のおかげで、1年間勉強・研究も生活も安心に進めました。奨学金のいただく2年目となり、今年も勉強・研究を頑張り、奨学生の皆さんとたくさんの楽しい思い出を作ろうと思います。ご支援誠にありがとうございます。



▲ メルボルン大学 (写真一番左)



▲ 日明浄化センター (写真一番左)

崔 雪子 (中国)  
福岡教育大学 卒業



目標を失わず  
いろいろなことに挑戦してください

私は吉川育英会様から支援していただき、平成24年に無事大学を卒業することができました。当時は卒業論文や就職活動、アルバイトに追われる毎日でしたが、お陰様で学業に専念することができました。

留学生時代は、母国を離れて不安な日々もありましたが、そのような中で、毎月開催される「奨学生の集い」は他の留学生と励ましあい、悩みを分かち合える大切な交流の場となっていました。お陰様で私は今、社会人として歩み始めています。



▲ 写真 左が崔さん

私は今、江藤酸素(株)の国際部に所属しており、営業を担当しています。設備や部品を中国、韓国、ベトナムなどから低コストで高品質なものを輸入し、お客様にご提供するお手伝いをしています。幸いにも入社1年目から海外出張をさせていただくチャンス頂き、

多くの海外のお取引先を知ることができました。

現在は新日鉄住金様への営業活動をはじめとして幅広く営業の仕事させて頂いています。最近では吉川工業様にご提案させて頂いており、良いものをご提供できるよう努力していきたいと思っています。まだまだ駆け出しで力不足ですが、多くのことを経験し、学びながら少しずつ成長できたらと思っています。

さてプライベートのお話で恐縮ですが、私は日本の男性と大学時代から4年間の交際期間を経て、平成26年7月に結婚しました。当時、夫は私と同学年でしたが福岡市の教員試験に応募し採用となって、現在は小学校教諭として忙しい日々を送っています。

私たち夫婦は去年8月と今年の2月にそれぞれ両国で挙式を行い、現在は福岡県の宗像市に居住しています。

私たちは国籍も育った環境も文化も違う中で夫婦になった訳ですから、結婚当初は意見が合わないため、お互いに不愉快な思いをすることが多くありました。しかし、私たちはこれまで、いろいろな障害を乗り越えて夫婦になることができた訳ですから何とかこの試練を乗り越えなければお互いに前向きに考えました。

そこで、出した私たち夫婦の結論は「互いに尊重し合う。理解し合う。相手の立場に立って今一度考える」の三原則を徹底することに決めました。この原則を共通認識することによって、ぶつかり合うことが多かった日々も段々と和気あいあいの日々が変わってきました。

そして、その成果でしょうか、今年の7月に第一子の誕生を予定しており、ふたりでその日を楽しみに待っています。

奨学生の皆さん、毎日頑張ることも大事ですが、次に頑張るためのお休みも大事なことです。学業とアルバイト、そして私生活とそれぞれバランスの取れた日々を送る努力が必要だと思います。

又、社会人になると学校時代が恋しくなります。「あの時もう少し勉強すればよかったなあ」、「ボランティアに参加すればよかったなあ」、「他国の留学生たちと交流をもっとすればよかったなあ」と思い返す時があります。

いろいろと障害にぶつかることはあると思いますが、目標を見失わず、いろいろなことに挑戦してください。みなさんの明るい未来に期待しています。